

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35°25'24"
				経度	140°01'03"
鎌倉街道橋 (フリガナ) カマクラカイドウキョウ	飯富上泉線	千葉県袖ヶ浦市大曽根地先			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路
袖ヶ浦市	2016.10.07	館山自動車道	有	一般道	配管(水道)

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 ( ~ )	変状の種類 ( 以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	-	-			
	横桁	-	-			
	床版	-	-			
下部構造	-	-	写真1、2 堅壁01、02			
支承部	-	-	-			
その他	-	-	写真3、4 高欄			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 ~ )		
点検時に記録		措置後に記録
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分) (再判定実施年月日)
	堅壁にひびわれ、高欄側面及び端部に剥離・鉄筋露出が見られる。直ちに補修するほどの緊急性はなく、少なくとも次回の定期点検までに構造物の安全性が著しく損なわれる事は無いと思われる。	

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1994年	39.30m	10.10m
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>起点</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>終点</p> </div> </div>		

架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

部材単位の判定区分が、又はの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1 下部構造(豎壁01)【判定区分: 】



写真2 下部構造(豎壁02)【判定区分: 】



写真3 高欄【判定区分: 】



写真4 高欄【判定区分: 】

